

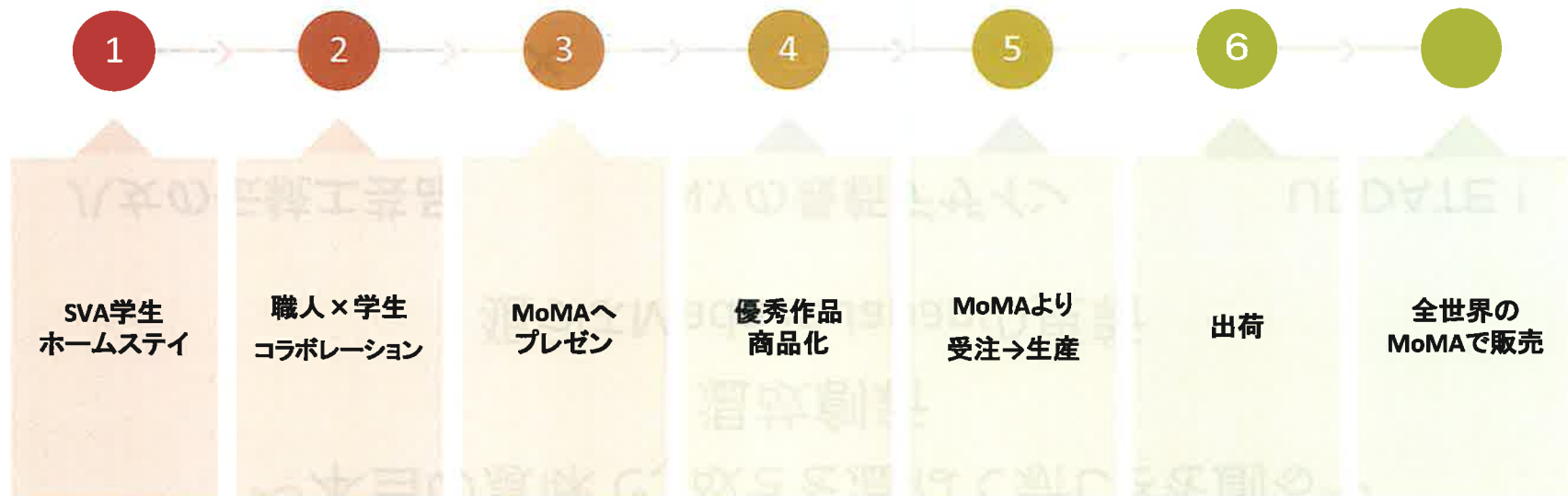
# 伝統と最新デザインの融合

【ニューヨークから世界へ発信することからはじまる】  
日本古来の伝統や文化を改革して先に進むのではなく  
匠の技を継承しながら  
現代的な上書きの作業をして未来に繋ぐコラボレーション

～本当の意味で、故きを温ねて新しきを創る～  
温故創新

狙うはMade in Japanの更新





## 商品化までの流れ

# 八女市工房めぐり×デザイン

八女市にある10の工房をめぐり、職人よりレクチャーを受け  
伝統と文化を学び、デザインを考案  
ディスカッションしながら新商品の開発を行います。



※写真は昨年10月に開催時のもの

# School of Visual Art

コラボレーションの相手であるschool of Visual Artは1947年にN.Y.Cに創立、通称SVA(エスヴィエー)と称される。当初はイラストレーターと漫画家を要請するための専門校として開校し、ニューヨークのポップカルチャー隆盛の一端を担ってきた。現在も伝統的な美術よりも、イラストやCG、写真、映画、ビデオと言った新しい芸術メディアの教育に力点を置いている。

ネック・フェイス(グラフィティアーティスト)、キース・ヘリング(アーティスト)ジェラルド・ウェイ(ミュージシャン)などがここで学んだ。



21の学科があり、5000人もの生徒が通う人気校。2016年にはUS Newsが選ぶ人気大学100でFine Art部門20位を獲得した。

## ■シンクレア・スミス教授

プロダクトデザイン科 学部長  
主な経歴としては、Amex、BMW、Samsungなどのコンサルティングや、ディズニー、マイクロソフトなどのプロダクトデザイン、DKNY、Dolce Vitaなど店舗インテリアを手掛ける。2014年からSVAの教授に就任。MoMAとのコラボレーションなど多彩なデザインの仕掛けを行っている。

